

# 福祉サービス第三者評価結果

## ①第三者評価機関名

株式会社 ブルーライン

## ②事業者情報

名称： さくら保育園浦和東口ルーム	種別： 小規模保育事業
代表者氏名： 天野 広行	定員(利用人数)： 19(19)名
〒330-0056 所在地： 埼玉県さいたま市浦和区東仲町19-20 第2メゾンクレール東仲町1階	TEL 048-753-9674

## ③総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>(1) 【サービス実施計画の情報共有】 サービス実施計画は、個別に一人ひとりの計画としてではなく年令別クラス単位での計画となっていますが、記録する職員毎に記録内容や書き方に差異が生じない様、書式や記載方法も統一され職員に徹底されています。情報共有は紙媒体で行われサインを以って確認印としており、情報の分別も回覧の際に配慮され仕分けられています。</p> <p>(2) 【1・2歳児クラスについて】 1・2歳児の保育に於いては食事の堅さやオムツの取れ具合等、子ども一人ひとりの成長の差を配慮しています。この年齢は縦割り保育を行っており、その中から社会性や生活・遊びのルール、子ども同士のもめ事に対する対応方法等を自然に学べる環境作りを行っています。</p> <p>(3) 【地域との関わり】 園内で動植物に接する機会を設けてはいませんが、植物や動物・乗り物等の図鑑や絵本を準備し、子ども達の興味のある物が見られる様、配慮しています。近隣のデパートまで散歩で行く機会には、エレベーターを経験したり一般の大人と挨拶等を交わし、交流の機会も作っています。</p>
<p>◇特にコメントを要する点</p> <p>(1) 【中・長期計画と年度事業計画の関係と対応】 法人の理念・基本方針に基づいた中・長期計画が直近で策定され、中・長期計画の初年度と云う位置付けで、本年度の事業計画として読み取る事となりましたが、事業計画は単年度に於ける事業内容を具現化すべく、実行可能な計画として策定すると云う本来の決定過程や、職員の参画・利用者への周知と云う面では欠落がある為、根本的には事業計画として機能する状況にはなっていないと感じます。又、PDCAの改善サイクルとしても途上である為、展開方法の理解と実践が今後の課題と思われまます。(今回、策定された内容は、受審対策として急遽作成した感は否めませんが、今後に対する決意表明として期待します)</p> <p>(2) 【法令遵守】 具体的に認識されている遵守すべき法令の範囲が限られており、施設におけるコンプライアンスへの対応も曖昧と思われ、職員への遵守すべき法令等の周知も十分ではありません。</p> <p>(3) 【利用者満足の上昇】 利用者の満足度調査に付いては、今回の第三者評価で行った利用者アンケートを継続的に毎年行う事になりました。来年度以降、同じアンケートの内容で継続的に行い定量的にその変化をつかみ課題を抽出する事と合わせ、その変遷から対応策を検討して行く事としました。今回の中では分析は行いましたが、評価・見直しは今後の施設側の作業となる為、来年度に向けて必ず行う事とされています。又、保護者が開催を望んでいる保護者会等は行われていません。併せて次年度の課題となっています。</p>

## ④第三者評価結果に対する事業者のコメント

平成27年4月から開園したさくら保育園浦和東口ルームですが、未熟な点も多く、様々な課題があります。初年度に第三者評価を受けた意味として、現在の課題とこれからの課題を指摘していただき、どのように取り組んでいくのか具体的な解決が見えてきたという点がとても大切であったと思います。結果から得られたものを職員全員で共有し、今後の取り組みに繋げていきたいと思っています。

最後に、評価機関の皆様、調査にご協力して下さった保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

## ⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙